

# 第15回ランチョンセミナー

シリーズ：「アクティブラーニング入門一歩前」

【その2】初年次におけるPBL

～“学問モデル”のススメ～

担当：教育推進部教授 三浦真琴，教育開発支援センター研究員 齋尾恭子

アクティブラーニングに万能薬はありません。  
調合の匙加減はあなた次第。

日時：11月21日（木）12：30～13：15

（入室・退室は自由です）

場所：第2学舎1号館2階B205教室

対象：本学教職員（非常勤講師の先生方もぜひお越しください）

第2学舎1号館2階B205



～アクティブラーニングの定義～

「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。」（中央教育審議会、2012）



◆お問い合わせ◆

教育開発支援センター（授業支援グループ）

竹中・小形（内線3812・4822）